



校長が考える学校経営の「一步先」を実現する



R7年度 第1号①
津山教育事務所 4月

ビジョンを共有！みんなでつくる学校

「スタート」が大切！

校長先生の目指している「子ども像」「教職員像」
「学校像」を職員や児童生徒に伝えましょう！

まず自分のチームを知る

- ①学校の強みや弱みの把握
- ②強みの強化や弱みの補強、克服に向けた対策
- ③取組の焦点化・重点化
(今年度の挑戦はこれ！)
- ④重点取組の共有、発信、実行

新任・転任の校長先生は、着任直後で非常に多忙な日々をお過ごしと思います。落ち着いて学校経営ビジョンや戦略を見直すことができにくいかもしれません。

しかし、最初が肝心です。ビジョン、コアバリュー、パーパス、ミッション等について、前任の校長先生の思いをしっかり受け止めるとともに、「こんな学校にしたい！」という自分自身の思いやビジョンをもって、アクションプラン (AP) を見直し、自分のものにしてください。

アクションプランは学校の方向性を示す羅針盤（ナビゲーションツール）

ベクトルを合わせチーム一丸となって取り組むためには、学校経営のビジョンと戦略（学校の目指していること）を職員と共有することは、非常に大切です。

その際、『なぜ、その子ども像なのか』『なぜ、それを目指さないといけないのか』という説明が必要です。納得感と必要感をもって提示していきましょう。

学校がやりたいことを見える化＝「項目」名を学校で設定
「本年度の重点目標」＝どのような児童生徒を目指す？
「達成指標」＝どうなれば重点目標達成？
「中間期(年度末)の値」＝目的の達成度

「重点取組」＝目的達成のために何をする？
「取組指標」＝誰が、どのくらいの頻度で、どこまで、どのようにする？
「取組状況の分析・検証」＝手段の実行度。どのくらいできた？できなかった？それはなぜ？
「今後の取組」＝何をどのくらいする？

アクションプラン（AP）の作成・取組、学校経営等でお困りのことがありましたら、ご遠慮なくアドバイザー 金田まで ご相談ください。連絡先：津山教育事務所義務教育支援課学力向上班 TEL (0868) 24-8705



校長が考える学校経営の「一步先」を実現する



R7年度 第1号②
津山教育事務所4月

なぜ「アクションプラン」なのか

R7.2.4総合的マネジメント力発展
研修講座「学校経営アクション
プランを活用した学校づくり」
資料より一部抜粋

学 校

様々な課題に対し、学校が**組織**として向き合い、
解決するための作戦を立てるのが**アクションプラン**

校 長

学校のリーダーとして、**組織**としての**ビジョン**と**戦略**を立てる

- ・学校の強みや弱みを洗い出す
- ・全教職員で強みの強化、課題解決に向けたベクトルを揃える
- ・教職員個々の取組を組織的につなげる
- ・授業改善を中心に据えた組織的な課題解決を図る

★目標の達成に向け、教職員が主体的かつ組織的な取組を行う学校組織を確立する

- ・学校の具体的な目標や取組の設定
- ・全職員の共通理解 → 実践
- ・学校全体で検証・改善を繰り返す

みんな（職員・子ども）が一丸となる
強みを活かす 課題解決に向けて取り組む
課題を克服 学校がより良い方向に向かう

学校が**前に動く**
学校が**活性化**する
学校が**元気**になる

学校組織としてのシステム構築→自走する学校へ

そのためのツールが「アクションプラン」

アクションプラン作成に関わって

★県義務教育課資料を活用ください

- ・令和7年度学校経営アクションプラン作成に当たって
- ・Adviser' Viewpoint第9号（令和6年3月）